

同じ地域に暮らす者同士 挨拶できる関係になろう

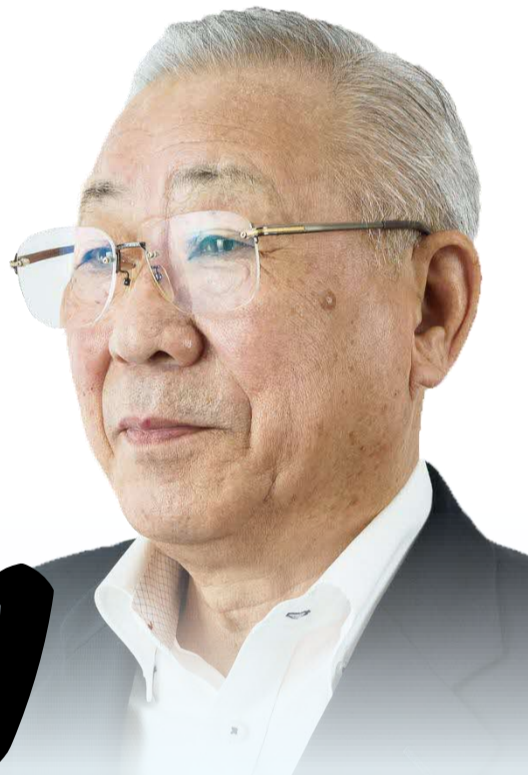
「自治会長って言うよりは旗振りおじさんの印象が強いかも」と笑う樋田会長。毎朝7時30分から約1時間、西新井四丁目の交差点で横断誘導を始めて15年になる。谷在家駅と西新井第二小学校を結ぶ通り沿いのため、登校中の小学生をはじめ、通勤・通学の人も多く、「挨拶を交わすことが楽しい」。時には交通整理をすることも。元・タクシー運転手のため、指示はスムーズかつ的確である。

昭和45年から西新井四丁目自治会のエリア内に在住。役員になったのは平成7年、54歳の頃だった。役員になって、「地域を見る目が変わった。「誰か」がやらなければならないことがある。その「誰か」になろうと思った」という。自治会長になって16年目、現在は、伊興町自連の連合会長も務める。

人と人との助け合い 築く信頼関係がやりがい

会長として心がけているのは、「公平であること」。誰に対しても決してひいきはしない。そういう姿勢を忘れずに、同じアパートの皆さんと関係を築いてきたことで、「信頼していただける喜びもあります」。

昭和46年、伊興町アパート建築後、最初に入居した。当時は96世帯。金子会長一家と同じ若いファミリーが多かったという。入居と同時に発足された自治会に入会。現在も入居者は全員加入している。初めて会長になったのは昭和62年48歳だった。その後、平成13年から15年の3年間も会長を務めた。そして、自治会内での信頼もあり、平成22年から現在まで長期に渡って会長を任されている。区をはじめ警察署や消防署から最新情報が入ってくるほか、近隣の都営住宅、



「時間があるからやらせていただいているだけ」と謙遜するが、原動力になっているのは、「地域のことで動くのは、自分にとって特別ではなく当たり前」。町会・自治会に加入することは、「近所に心強い仲間を増やすこと。入会が難しかったら、せめて、近くの学校の避難所運営訓練(※)に参加してみてください。いざという時に安心ですよ。同じ地域に暮らす者同士、挨拶できるようにしたいね」。

※避難所運営訓練

町会・自治会が協力し主催。現在はコロナ禍のため、一般参加は受け付けていません。参加者募集の際には、町会・自治会の掲示板でお知らせします。

区営住宅の自治会単位でつながる「住宅会」で情報交換をしたりと、自治会参加はメリットの方が多いと考える。アパートの入居者同士、若い頃からずっと一緒に歳を重ねてきた。コロナ禍の前は毎月集まってカラオケやおしゃべりを楽しんだり、アパート前の公園にやぐらを組んで盆踊りなどで盛り上がりがあったことも。「人は一人では生きられないから助け合っていくことが大切。町会・自治会への積極的な参加は、定年後のやりがいの場としてもおすすめですよ」。

会長に就け!

昭和14年生まれ、83歳。趣味は水彩画。生まれ育った群馬の赤城山のような美しい緑のある風景を求め、近隣の公園を多く描いている。また、釣ったハゼをさばけるほど料理も得意。さらに、「公平であること」が信条のため、孫たちのカレーの具も同数に揃えるなど、盛り付けにもこだわりあり。

伊興町自連 副会長、伊興町アパート自治会長

金子 實 Kaneko Minoru

伊興町自連 連合会長、西新井四丁目自治会長

樋田 憲次 Toida Kenji

昭和16年生まれ、81歳。日課は散歩(雨天時を除く)。毎朝4時30分(学校が休みの時は横断誘導を行わないため5時30分。冬期は夕方)から1時間程歩く。舎人公園で季節の木々を愛でるコースがお気に入り。毎日の歩数差はスマホの計測で50歩以内と一定のスピードで歩ける健康ボディをキープしている。

町会・自治会に加入する 3ステップ

※ 自分のエリアの町会・自治会員をご存知の方は直接お申込みください。
(都営・区営住宅は入居時にご案内します)

1 加入方法がわからない方は
下記の方法でお申込み

● ネットで 足立区公式サイトへ



上記QRコードを
読みとってください

ページ内の
加入申込み
専用フォーム
に入力

● 郵送・ファクスで 住所、氏名、電話番号を明記し送付

郵送 〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
地域調整課地域調整係宛て

ファクス 03-3880-5603

問合せ 足立区地域調整課 TEL 03-3880-5864

2 該当の町会・自治会から
連絡が来ます

3 加入!



ようこそ!
地域の団結で
安心を!